

(証券コード 東証プライム：5957)

2022年12月期 第2四半期 決算説明会

NITTOSEIKO
Taking new steps forward together



1. 2022年12月期 第2四半期 業績概要
2. 2022年12月期 第117期 業績予想
3. サステナビリティ経営の推進
4. グローバル展開に向けて
5. セグメント別の取り組み
6. 経営の考え方

■ 説明者

代表取締役社長 材木 正己



1. 2022年12月期 第2四半期 業績概要

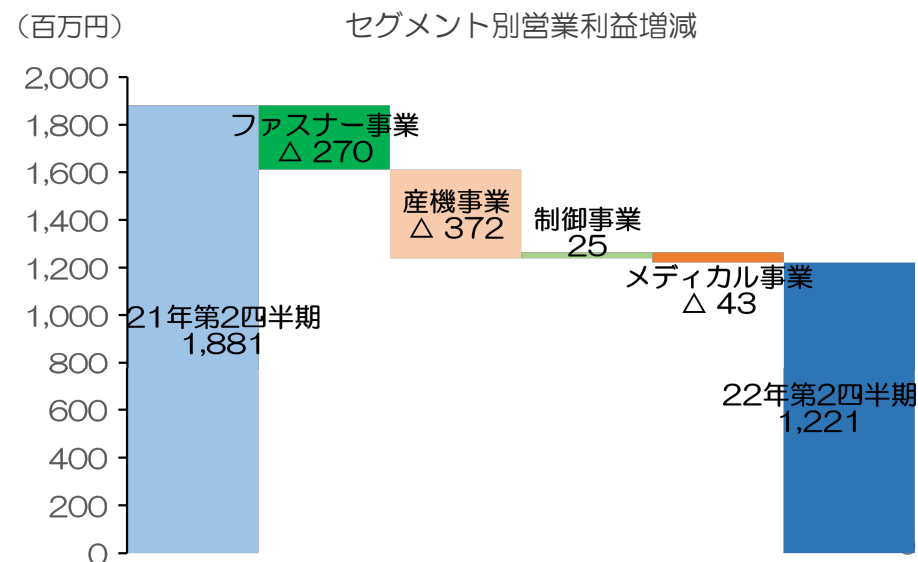
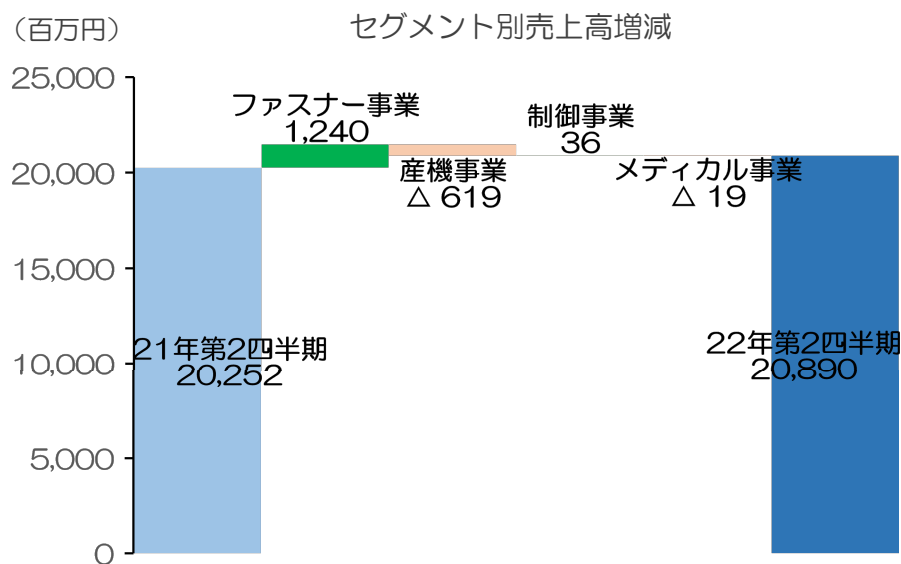
単位：百万円／％	21年12月期 第2四半期		22年12月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	20,252	100.0	20,890	100.0	637	3.1
売上総利益	5,275	26.0	4,953	23.7	△321	△6.1
販売管理費	3,393	16.8	3,732	17.9	338	10.0
営業利益	1,881	9.3	1,221	5.8	△660	△35.1
経常利益	2,010	9.9	1,459	7.0	△550	△27.4
税金等調整前当期純利益	2,131	10.5	1,449	6.9	△682	△32.0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,231	6.1	833	4.0	△398	△32.4
一株当たり当期純利益（円）	33.41		22.56			

- 主要販売先である自動車関連業界における生産調整の影響を受けたものの、本年4月より子会社化したケーエム精工、ピニングが貢献し、前年同期比増収。
- 原材料価格や物流コストの高騰、部品不足などの影響により、前年同期比減益。
- 海外は、一部で中国におけるロックダウンの影響を受けたものの、東南アジアを中心に生産が回復。円安の効果もあり、前年同期比増収に寄与。

セグメント別売上高・営業利益（連結）



単位：百万円／％		21年12月期 第2四半期	22年12月期 第2四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
ファスナー事業	売上高	13,985	15,226	1,240	8.9
	営業利益	894	624	△270	△30.2
	利益率	6.4	4.1		
産機事業	売上高	3,690	3,070	△619	△16.8
	営業利益	944	571	△372	△39.5
	利益率	25.6	18.6		
制御事業	売上高	2,552	2,588	36	1.4
	営業利益	47	73	25	54.0
	利益率	1.9	2.9		
メディカル事業	売上高	23	4	△19	△80.5
	営業利益	△4	△47	△43	—
	利益率	△19.9	△1,038.6		



単位：百万円／%	21年 第2四半期	22年 第2四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	13,985	15,226	1,240	8.9
自動車	5,366	5,368	2	0.0
住宅・建築	2,278	3,055	776	34.1
電機・電子部品	2,611	2,775	164	6.3
雑貨	1,198	1,112	△85	△7.2
IT・情報機器	653	755	101	15.5
精密機器	515	552	37	7.2
医療	143	166	22	16.0
エネルギー関連	86	70	△16	△18.8
その他	1,135	1,373	238	21.0
営業利益	894	624	△270	△30.2

- ・ 本年4月より「ケーエム精工(株)」「(株)ピニング」が当社グループに加わった効果あり、売上高は前年同期比堅調に推移。
- ・ 海外ではIT・情報機器関連のねじ製品が総じて好調に推移。

◆自動車

- ・ EV関連ではAKROSE製品やギア部品などの需要が好調に推移したものの、半導体等の部材不足による生産調整の影響が大きく前年同期比横ばい。

◆住宅・建築

- ・ 住宅設備向けねじ製品の需要は引き続き好調に推移し前年同期比大幅増。

◆電機・電子部品

- ・ 家電をはじめとするねじ製品の需要は引き続き堅調に推移。

◆雑貨

- ・ ゲーム機器向けねじ製品は半導体不足による減産計画などの影響もあり低調に推移。

◆IT・情報機器

- ・ 5G通信関連の動きが活況となり関連部品の需要が好調に推移。

単位：百万円／％	21年 第2四半期	22年 第2四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	3,690	3,070	△619	△16.8
自動車	1,922	1,954	32	1.7
電機・電子部品	630	209	△421	△66.8
エネルギー関連	511	165	△345	△67.6
IT・情報機器	85	98	12	15.1
遊技機	23	55	32	141.0
住宅・建築	55	47	△8	△15.1
雑貨	12	23	11	95.2
その他	452	519	67	15.0
営業利益	944	571	△372	△39.5

- 材料の高騰および入手困難など背景もあり、売上は前年同期比△16.8%となる。
- 海外では、国際見本市（ドイツ）初出展なども実施し、拡販に向けた施策を展開し、今後の伸びに期待。

◆自動車

- EV、ECU関連など製造設備の引き合いも多く需要は横ばいで推移。

◆電機・電子部品

- 昨年より活況な半導体設備の需要であるが、主要ユーザの今期需要は昨年の投資により限定的となった。この結果を受け前年同期比大幅減。

◆エネルギー関連

- 昨年のガスメータ関連特需の反動を受け、前年同期比大幅減。

◆IT・情報機器

- 通信基地関連などの需要で堅調に推移。

◆遊技機

- 製造設備の更新など一定の需要により前年同期比大幅増となる。

単位：百万円／％	21年 第2四半期	22年 第2四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	2,552	2,588	36	1.4
化学・薬品	613	592	△20	△3.3
エネルギー関連	562	443	△119	△21.2
住宅・建築	265	288	23	8.8
自動車	150	190	39	26.1
電機・電子部品	145	151	5	3.7
造船	121	138	17	14.2
食品	52	58	6	12.5
その他	644	728	83	13.0
営業利益	47	73	25	54.0

- ・エネルギー関連では分析器等の売上高が伸びを欠いたものの、その他分野では、流量計や地盤調査機などで売上増に寄与。結果、前年同期比で売上高は横ばい。

- ◆化学・薬品
 - ・元素計、水分計など、分析装置の需要は横ばい。
- ◆エネルギー関連
 - ・新製品「窒素・硫黄・塩素分析装置 NSX5000Vシリーズ」や輸出向けの引き合いはあるものの、前年同期比△21.2%と低調に推移。
- ◆住宅・建築
 - ・ジオカルテの需要は引き続き堅調。
- ◆自動車
 - ・ミストル、キズミルなどの需要も底堅く堅調。
- ◆造船
 - ・カーボンニュートラルに伴う燃費転換により質量流量計が堅調。

単位：百万円／％	21年 第2四半期	22年 第2四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	23	4	△19	△80.5
医療	23	4	△19	△80.5
その他	—	—	—	—
営業利益	△4	△47	△43	—

◆医療

- 「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」は、治験に向けた省令等に基づくシステムの構築、製造体制の構築など、早期の製品化に向けた取り組みを推進中。

海外業績概要（22.2Q 実績）

連結売上の約30.6%が海外（2021年度は25.6%）

エリア	エリア別 売上高比率	対象国	21.2Q比	コメント
東アジア (日本除く)	10.9%	中国	140%	ロックダウンがあったものの、自動車関連の生産設備投資が好調に推移。
		韓国	130%	自動車関連の生産設備などが好調に推移。
		台湾	96%	自動車、電機・電子部品関連のねじ製品の需要は横ばい。
東南アジア	12.7%	タイ	102%	電機・電子部品関連のねじ製品の需要は好調に推移するも、自動車関連のねじ製品・ねじ締め機など需要は低調。
		マレーシア	127%	電機・電子部品やIT・精密機器関連の好調に推移。
		インドネシア	128%	電機・電子部品およびIT・精密機器関連のねじ製品の需要は好調に推移。
北米	4.5%	USA	164%	自動車関連の生産設備が回復基調で大幅増。
欧州	1.2%	----	106%	日東精工アナリテックの分析装置などの需要は堅調に推移。
その他	1.3%	----	90%	分析装置やねじ製品の割合が大半を占めるも、前年同期比では低調な需要。

2022年12月期 第2四半期 (連結)貸借対照表

単位：百万円／％	21年12月期		22年12月期 第2四半期		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
資産の部						
流動資産合計	32,646	64.1	33,368	63.1	722	2.2
現金及び預金	11,415	22.4	9,612	18.2	△1,802	△15.8
受取手形・電子記録債権/売掛金	12,084	23.7	12,813	24.2	729	6.0
棚卸資産	7,926	15.6	9,921	18.8	1,995	25.2
固定資産合計	18,277	35.9	19,486	36.9	1,208	6.6
有形固定資産	13,092	25.7	14,212	26.9	1,120	8.6
無形固定資産	1,281	2.5	1,194	2.3	△86	△6.8
投資その他の資産	3,904	7.7	4,078	7.7	174	4.5
資産合計	50,924	100.0	52,854	100.0	1,930	3.8
負債の部						
流動負債合計	13,675	26.9	14,303	27.1	628	4.6
支払手形・電子記録債務/買掛金	8,069	15.8	8,761	16.6	691	8.6
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,610	5.1	2,597	4.9	△13	△0.5
固定負債合計	4,546	8.9	4,461	8.4	△84	△1.9
負債合計	18,221	35.8	18,765	35.5	543	3.0
純資産の部						
資本金	3,522	6.9	3,522	6.7	－	－
資本・利益剰余金	26,993	53.0	27,510	52.1	517	1.9
自己株式	△1,254	△2.5	△1,245	△2.4	9	0.7
純資産合計	32,702	64.2	34,089	64.5	1,387	4.2

単位：百万円	21年12月期 第2四半期	22年12月期 第2四半期		
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF ※①	1,893	300	△1,593	△84.1
投資活動によるCF ※②	△337	△1,517	△1,179	—
（フリーCF） ※①+②	1,555	△1,217	△2,773	—
財務活動によるCF	△164	△661	△496	—
現金及び現金同等物の増減額	1,508	△1,659	△3,167	—
現金及び現金同等物の期首残高	8,299	10,435	2,136	25.7
現金及び現金同等物の期末残高	9,808	8,776	△1,031	△10.5

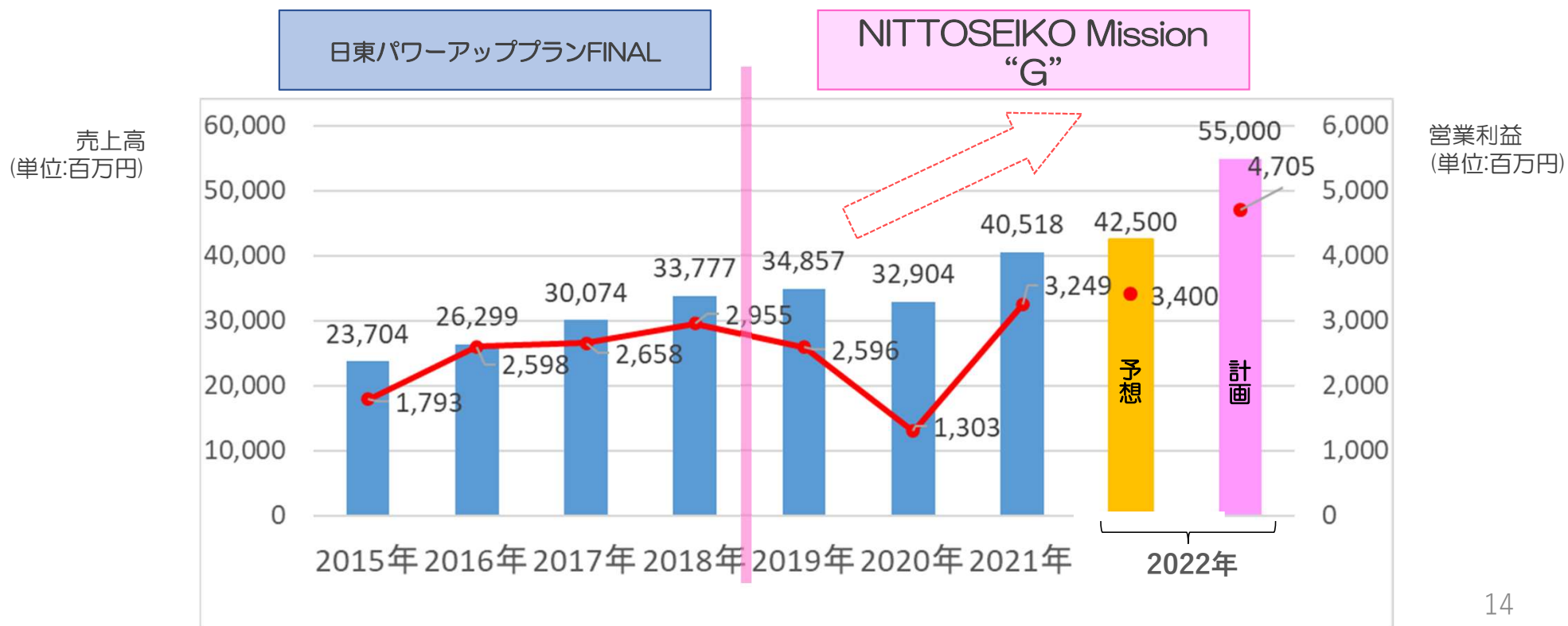
2. 2022年12月期 第117期 業績予想

本資料に掲載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこの見通しと異なる場合があります。

顧客、市場のニーズにグループの総合力でより高く応える

最終年度（2022年12月期）目標数値（連結）

売上高	55,000百万円	
営業利益	4,705百万円	(8.6%以上)
経常利益	4,941百万円	(9.0%以上)
当期純利益	2,896百万円	(5.3%以上)
ROE（株主資本利益率）	8.8%以上	
新製品売上高比率	30.0%以上	



2022年12月期（連結）業績予想



単位：百万円／％	21年12月期		22年12月期（予想）		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	40,518	100.0	42,500	100.0	1,981	4.9
営業利益	3,249	8.0	3,400	8.0	150	4.6
経常利益	3,487	8.6	3,500	8.2	12	0.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,200	5.4	2,200	5.2	0	0.0
一株当たり当期純利益（円）	59.63		59.54			

- 半導体不足や新型コロナウイルスの感染再拡大の影響は残るものの、自動車関連業界（EVやECU）を中心に需要の回復もあり増収の見込み。また、4月に子会社化したケーエム精工がファスナー事業の売上・利益の拡大に貢献。
- 軽量化や資源の効率化に貢献する環境課題に対応したねじ製品の需要が好調に推移する見込み。
- ねじ締め機関連では、自動車関連のCASEに関わる設備や住宅業界からの好調な需要を背景に、下期は売上増加を見込む。
- 流量計関連は造船業界の需要回復を受け、また検査機関連は省人化や自動化のニーズにより、堅調に推移する見込み。
- メディカル事業は、販社との連携強化に努めるとともに、医療現場のニーズや市場を見据えた新製品の開発を進める。
- 5月に出展した国際見本市後のフォローによる欧州新規顧客開拓の効果に期待。

単位：百万円	21年12月期	22年12月期 第2四半期	22年12月期 (予想)
	金額	金額	金額
設備投資	1,171	459	1,300
減価償却費	1,294	692	1,350
研究開発費	715	379	730

設備投資の主な用途 (2022年度)

品質・生産性向上①

めっき装置の更新



ねじ製品のめっき品質の向上とメッキ処理能力の強化。

品質・生産性向上②

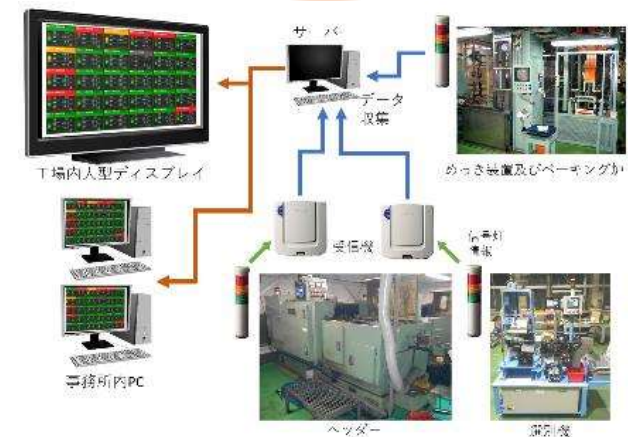
Sピン外径選別機の新設



特品ねじなどの製造・検査設備の新規導入ならびに設備改良による品質・生産性の向上。Sピン・・・自動車向けに使用される製品で当社が主要製造元

Smart Factoryの導入

生産設備の稼働状態の監視強化

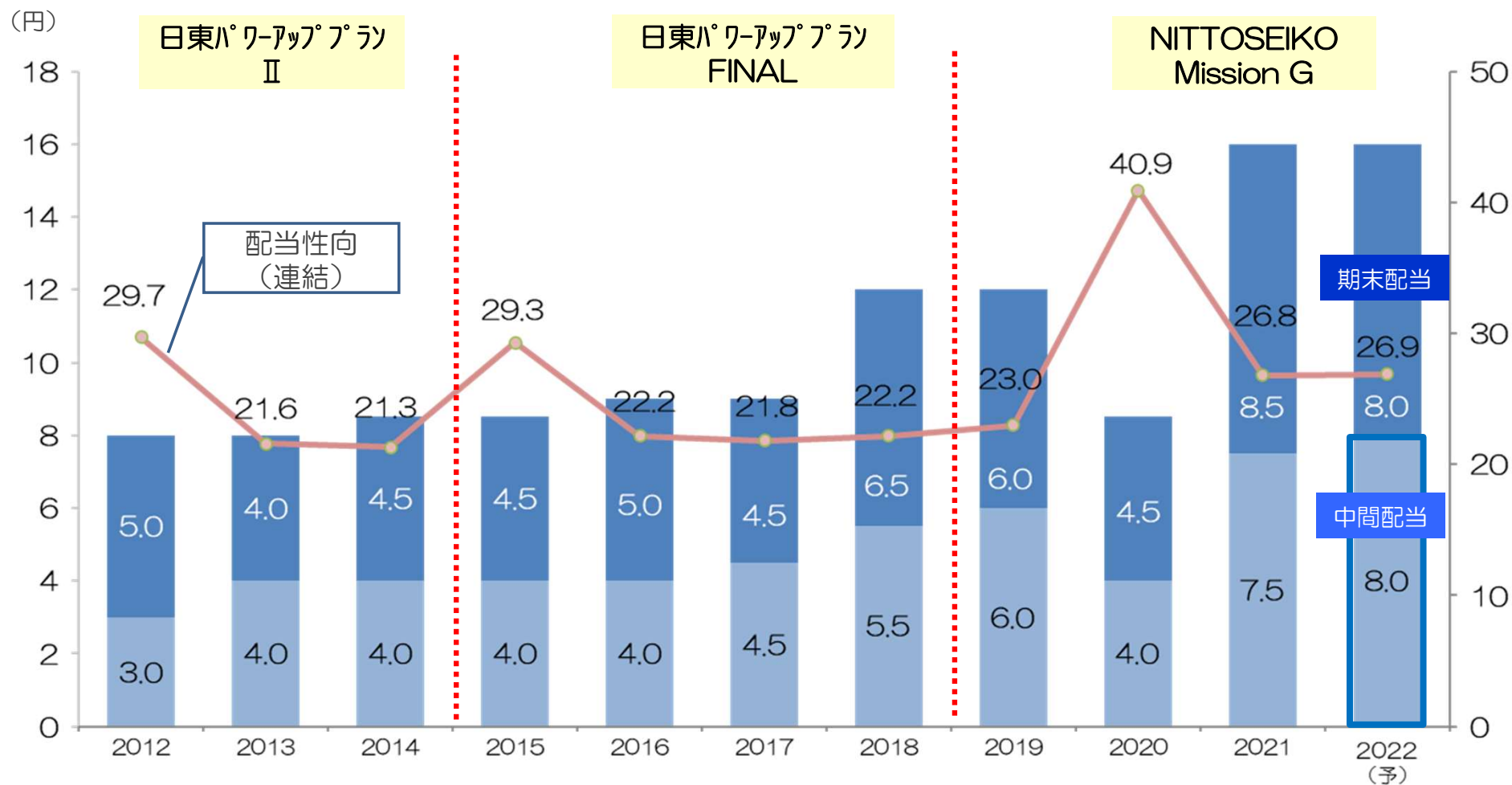


生産状況の監視強化とデータ記録、製造現場の状態の見える化を図る。

■利益配分に関する基本方針：

株主に対する利益還元 = 業績に見合った安定的な配当の継続

中間配当：8.0円 } 年間16.0円の配当
 期末配当：8.0円 }



3. サステナビリティ経営の推進

エンゲージメント

Nicotto7（健康経営）

Nicotto7は、生活習慣病対策、メンタルヘルス、ワークライフバランスの改善を含む7つの項目を設定した自社独自の取り組みです。全従業員参加で活力ある職場づくりを展開中です。



認定・受賞歴

健康経営銘柄2022 & 令和3年度「なでしこ銘柄」ダブル選定！！

- 2022年3月（日東精工(株)）

ダブル選定は全国で9社のみ。



健康経営優良法人2022



- 2022年3月（日東精工(株),日東公進(株),日東精工SWIMMY(株)）

スポーツエールカンパニー2022



- 2022年1月（日東精工(株),日東公進(株)）

地方創生

ネーミングライツ

- ①あやべ・日東精工アリーナ（武道場・競技場）2019年8月～
- ②あやべ・日東精工スタジアム（野球場）2022年1月～

モデルフォレスト

2022年6月、綾部市上林地区の森林保護のため、笹や下草の除去を行いました。森林の恩恵を受ける地域社会の一員として今後も活動を継続して参ります。

4. グローバル展開に向けて

～欧州市場への拡販～

HANNOVER MESSE 2022



会 期 2022/5/30~6/2

出 展 者 約2,000社

来 場 者 約7万5千人

展 示 場 所 自動車関連・ロボット
関連のホール

*日本からの出展は当社含め8社

EV・精密機器など基板関連を 中心にニーズが大きいコンタミ 対策製品を提案



コンタミ対策ユニット搭載
ねじ締めロボット



コンタミ飛散防止ねじ
CPグリップ

【今後の展開】

「ねじ」「ねじ締め機」「分析装置」で欧州における販路拡大ならびに販売網の構築を行います。

展示会でコンタクトできた自動車関連企業6社を含むユーザへ現在PR中。

5. セグメント別の取り組み

～ファスナー事業の取り組み～

ケーエム精工及び ピニングを子会社化



ケーエム精工2021年度業績

売上高：3,292百万円
営業利益：415百万円
経常利益：423百万円
当期純利益：284百万円

ピニング2021年度業績

売上高：616百万円
営業利益：30百万円
経常利益：30百万円
当期純利益：21百万円

製品ラインナップの拡充と 締結ソリューションの強化

建築業界向けねじのラインナップ強化

小

ケーエム精工

ねじサイズ

大

協栄製作所

締結ソリューションの強化



技術連携・生産連携・販売連携

技術
ノウハウ
共有

生産設備の
共有

販売
ネットワーク
の活用

コンタミ対策
(基盤締結)

HANNOVER
MESSE2022
でも注目の製品

欧州展開の
可能性に期待大

ねじ切粉粘着型ねじ CPグリップ®



近年、自動車のECUや電子機器などで、電子基板が益々精密になっており、周辺のねじ締めにより発生する粉がショートの原因になっています。

CPグリップは、オイル系粘液を封入したマイクロカプセルをねじ先端部に塗布したねじ。締結によりマイクロカプセルが破壊されることで、にじみ出た粘液が、めねじ成形粉や摩擦粉を粘着、粉の飛散や落下を防止します。また、めねじ成型時に相手材との摩擦抵抗を減らして、ねじ込み性能もアップします。

「軽量化」
「環境負荷低減」
「新生活様式」

ターゲット業界の見通し

自動車

- 半導体不足による生産台数減の挽回、EV化への開発投資が高まり好調と予想。
- 自動車メーカーの組立作業コストや環境負荷を低減可能なオリジナルタッピンねじや新型クリンチングスタッドボルトなどの受注拡大を狙う。
- 9月以降は在庫消化が進み回復傾向。加えて市場製品への価格転嫁も進む見込みのため、需要回復に期待。

見通し

上昇

住宅・建築

- 住宅設備向けのねじ製品は引き続き好調と予想。

やや上昇

電機・電子部品

- 海外はコモディティ化による大量品の受注拡大、国内は高級家電等に採用の高付加価値製品の受注拡大を見込み利益率アップに期待。

やや上昇

雑貨

- ゲーム機市場は巣ごもり需要の一服感があるものの、自転車/釣り具/時計等、生活様式の変化に伴う需要増の商品は継続して好調と予想。

横ばい

5. セグメント別の取り組み

～産機事業の取り組み～

ロボットメーカーとの 共同開発

新しいニーズにも、当たり前前の使いやすさを

メリット①

従来必要であった、ねじ締め機とロボットを仲介する制御装置やプログラミング、調整作業が不要。導入後、そのままねじ締めロボットとして使用可。

メリット②

ねじ締めの条件（ねじ込み長さ、回転数など）に合わせたねじ締めにロボット制御で実現。より理想的なねじ締めが実現できます。



メリット③

データ管理も一体制御のため仲介する制御装置やプログラミングが不要。一つのねじ締め作業に紐づくデータ収集が容易になります。

垂直多関節ねじ締めロボット

株式会社安川電機の垂直多関節ロボットと弊社のねじ締めユニットとを融合したコラボ製品です。位置決めを行うロボットとねじ締めを行うドライバの制御・設定を1台のロボットコントローラで一括制御・設定することを実現しました。

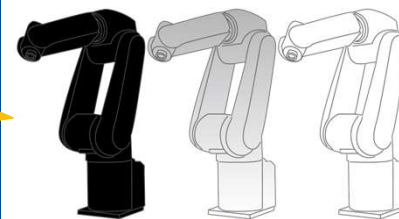
協働ロボット向け ねじ締めツール

新しいニーズにも、当たり前前の使いやすさを

昨年8月30日
販売開始



本年8月23日
リリース

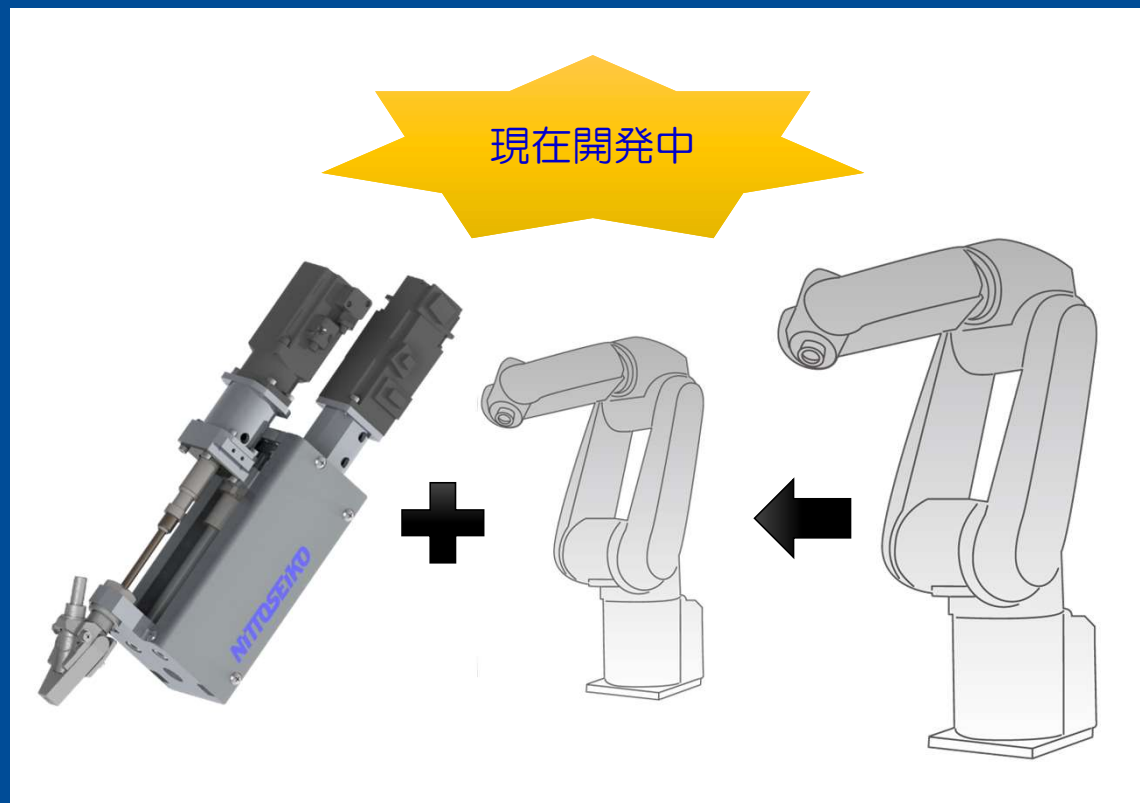


他社ロボット
メーカーとも
開発中

安全対策が不要で操作が簡単。自動化の新たな選択肢として急速にニーズが高まる、協働ロボットへの要望に応えるべく、各ロボットメーカーの協働ロボットに搭載可能な専用のねじ締めユニットを開発。各種動作設定やデータ管理をロボットのティーチングペンダント内で行うことで利便性を訴求します。

軽量ねじ締めユニット

- 重量従来比30%減
本ユニットを搭載するロボットの消費電力を削減可能
⇒ 年間Co2 0.35 t 削減
- 推力制御機能付
締めトルク、ねじ込み速度の個別設定可。
ワーク特性に応じた最適なねじ締め設定が可能に。



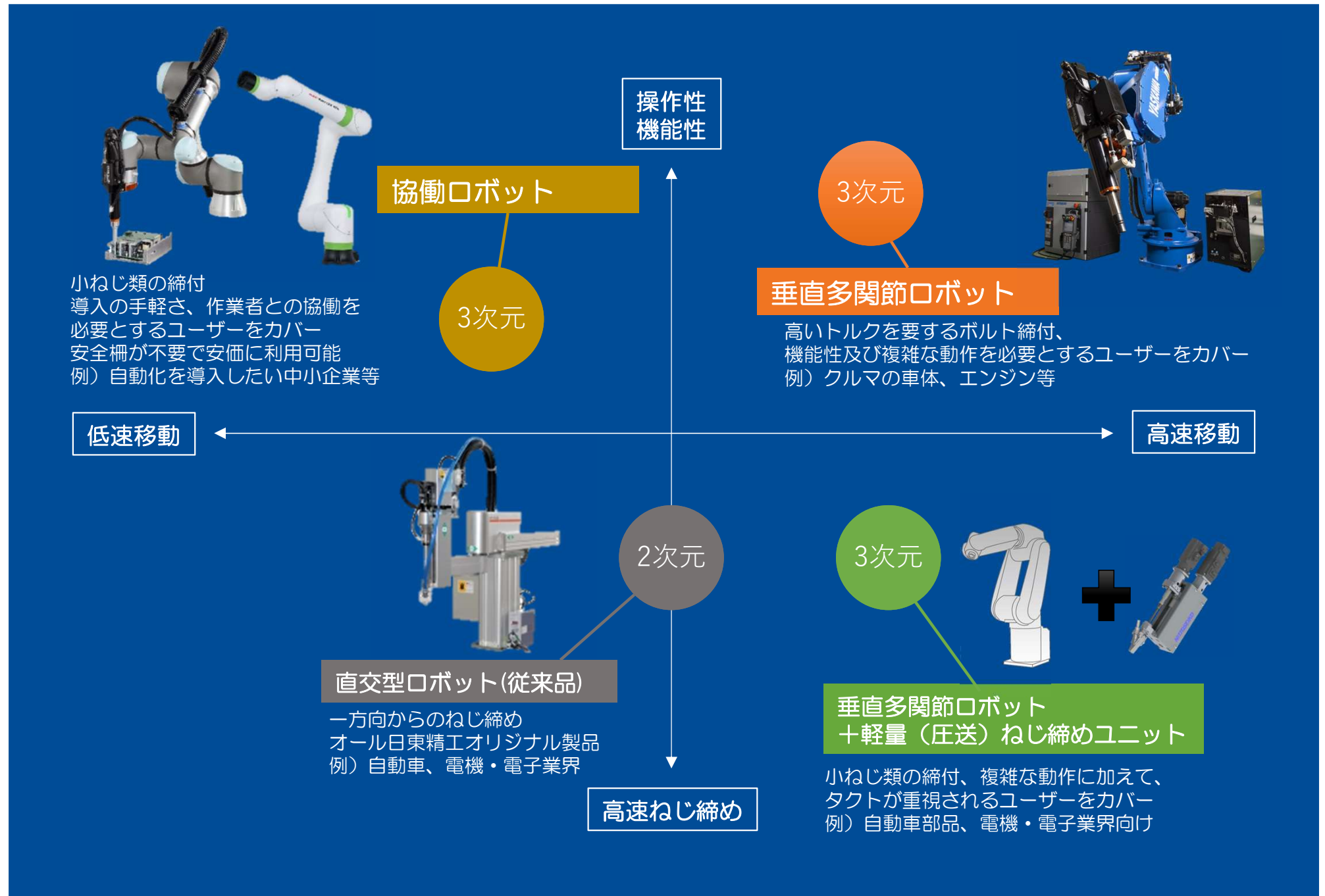
コンタミ対策 (電子部品)

金属粉などのコンタミ対策製品
コンタミ対策ねじ締め機



ねじなどに付着した金属粉などを締結直前にエア吸引によって除去。
エア圧送によりねじ供給可能なため、所定位置へ移動してねじを取り出す取出方式に比べて大幅な時間短縮を実現。





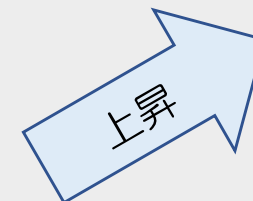
「人協働」
「エネルギー転換」
「労働力不足」
「ICT化」

ターゲット業界の見通し

自動車

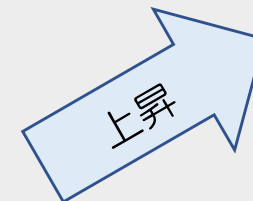
- 新車種生産設備や新エネルギー車向け設備投資の継続を見込む。
- 延期、中断されていた設備投資の再開が見込まれ、国内外ともに商談、PR活動に注力。

見通し



電機・電子部品

- 活況な半導体関連設備の受注を期待。



エネルギー

- 蓄電池用設備の投資に期待。



IT・情報機器

- 5Gなど通信基地局関連の動きに期待。



5. セグメント別の取り組み

～制御事業の取り組み～

新たな理美容業界を ターゲット

理美容室向け シャワーシステムの開発

当社マイクロバブル生成
技術を活用。
某大学・企業様とコラボ



環境負荷低減 (環境汚染対応)

自動シリンジ内希釈システム搭載分析装置 NSX-5000Vシリーズ

作業効率化と低ランニング
コストを実現。試料温調シ
ステムにより、揮発性液体
試料の適正な採取、導入が
可能。石油精製、石油化学、
化学工業などの研究開発部
門や品質管理部門への展開。



マイクロバブル洗浄装置 バブ・リモ

水中で生成させた
微細気泡を利用。
有機溶剤不使用で
水と空気による洗
浄のため、環境負
荷を低減します。



「環境」
「高精度計測」
「安全性」

ターゲット業界の見通し

化学・薬品

- 分析器、水分計をはじめとする分析機器の需要は、国内外ともに継続増加を見込む。環境問題などを背景に需要拡大に期待。

見通し

やや上昇

エネルギー

- カーボンニュートラルに伴い新燃料への転換が見込まれる。ガス燃料への切り替えによる流量計などの受注増加に期待。

上昇

住宅・建築

- 戸建て住宅向け地盤調査に新タイプのジオカルテIVへの買い替え需要に期待。海外への地盤調査機を出荷、受注獲得の気配もあり。

上昇

自動車

- 作業員不足の解消を見据え自動車部品メーカー向けの検査機需要が好調と予想。

やや上昇

5. セグメント別の取り組み

～メディカル事業の取り組み～

トランスジェニック との業務提携



業務提携内容

- 医療分野情報の共有
- 両社が持つメディカル分野のアセットの活用による事業領域の拡大
- 相互の人的交流を通じたプロフェッショナルの育成

素材・製品
開発



医療
試験

メディカル事業部門の製品、素材開発とトランスジェニックグループの創薬支援プラットフォームとの連携強化を図り、医療分野において、両社の強みを活かした新たな事業拡大を目指す。

トランスジェニックグループの強み

基礎研究

- 遺伝子改変マウスの作製受託及び開発
- 糖鎖受託解析、糖鎖受託合成
- 高親和性抗体作製受託及び開発

非臨床試験

- 小～大動物の安全性試験・遺伝毒性試験・環境毒性試験
- 小動物～大動物の薬理薬効試験

臨床試験

- ジェネリック医薬品開発の同等性試験・食品臨床試験
- 治験事務局業務、病院支援業務
- PMDA申請支援

世界初！ 医療用生体内溶解性 高純度マグネシウム



骨折治療用インプラント



特徴

- 99.95%以上の高純度マグネシウムで毒性なく高い安全性
- 生体内で一定期間経過後に溶解をはじめ、その後ゆるやかに長い時間をかけて完全溶解

進捗状況

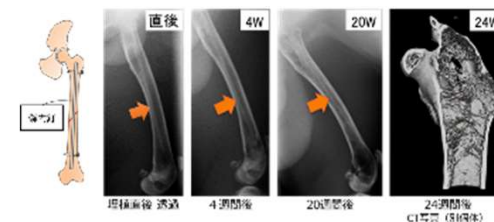


開発の状況

- 大学病院様で兎による非臨床試験を開始しました。

臨床試験に向け準備中

- 生物学的安全性試験の準備
- 動物実験
- 試験に関する手続き



量産体制の構築

- 量産用の設備投資
- 品質、性能の安定性確認

6. 経営の考え方

経営の考え方

- 1 お客様の要望に対して満足度120%対応を心がけています。
- 2 経営の目的は誰もが幸せになるウェルビーイングの追求です。
- 3 公益性社会貢献を創業の精神とし、持続可能な社会と企業を実現をめざします。
- 4 これらすべての実行のために強固な財務体質を確保します。